



2021年度
経営内容のお知らせ
ミニディスクロージャー

2022年3月期 業績の概要

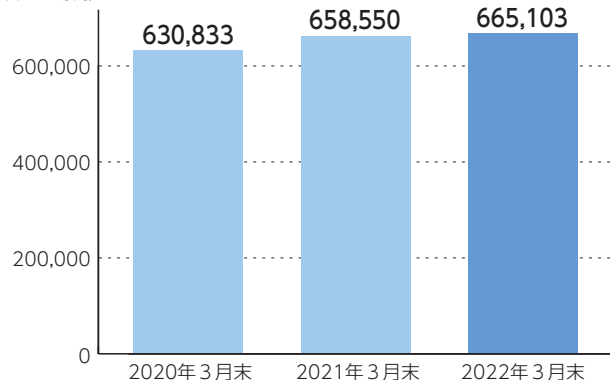
※計数はすべて単体ベースで表示しています。

預金・貸出金の状況

お客さまとの日々の対話を大切にし、それぞれのお客さまのニーズや課題に適したご提案に努めた結果、3月末の預金残高は前期末比65億円増加し、6,651億円、貸出金残高は前期末比76億円減少し、3,130億円となりました。

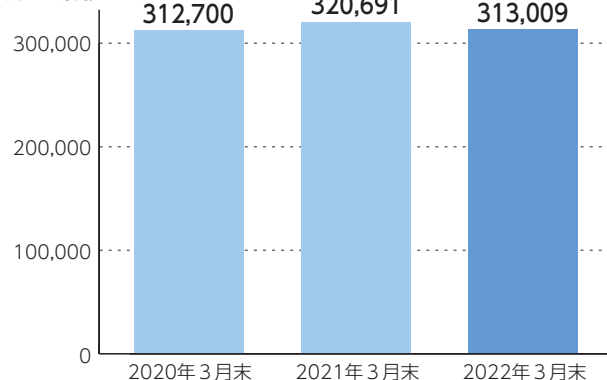
預金・積金残高

(単位:百万円)



貸出金残高

(単位:百万円)

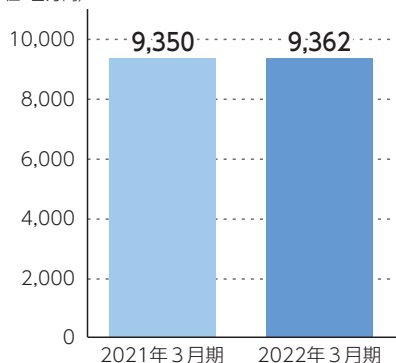


利益の状況

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々へ当金庫の金融機能・サービスをご利用いただきました。また、適切なリスク管理や経費管理などに努めたことから、引き続き安定した利益を計上することができました。

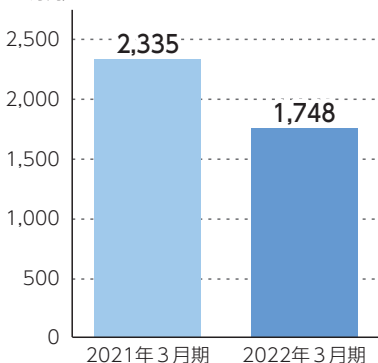
経常収益

(単位:百万円)



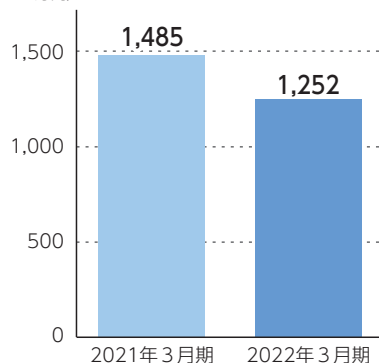
経常利益

(単位:百万円)



当期純利益

(単位:百万円)



	2021年3月期	2022年3月期
経常収益	9,350	9,362
業務純益	2,427	2,564
コア業務純益	1,666	1,683
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	1,666	1,683
経常利益	2,335	1,748
当期純利益	1,485	1,252

用語のご説明

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

●コア業務純益

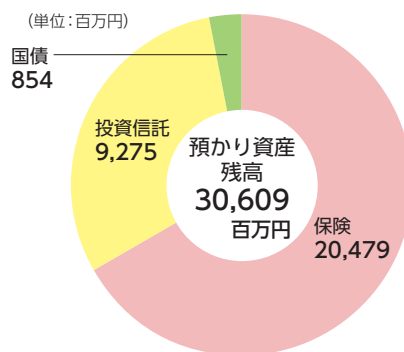
業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー（資産運用支援部所属の預かり資産専任職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介します活動に努めました。



預かり資産残高構成

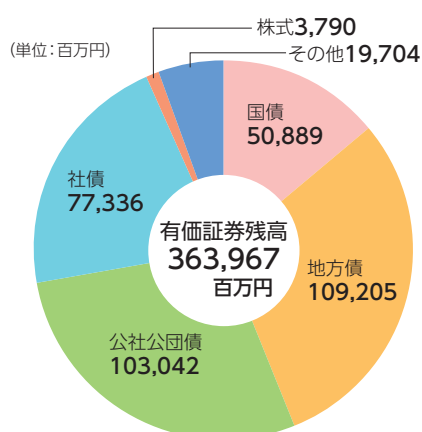


(注) 1. 「投資信託」は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

有価証券残高構成



(注)「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。「その他」は、「投資信託」、「外国証券」及び「その他の証券」です。

有価証券の時価等情報

▼その他有価証券

(単位: 百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価 (償却原価)	評価差額
株式	3,142	2,144	998
債券	340,393	342,614	▲2,221
国債	50,889	51,881	▲992
地方債	109,205	109,259	▲53
社債	180,298	181,473	▲1,175
その他	19,661	20,072	▲411
合計	363,197	364,831	▲1,634

(注) 1. 貸借対照表計上額は、3月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

(単位: 百万円)

区分	貸借対照表計上額	時価	評価差額
債券 (社債)	80	78	▲1
合計	80	78	▲1

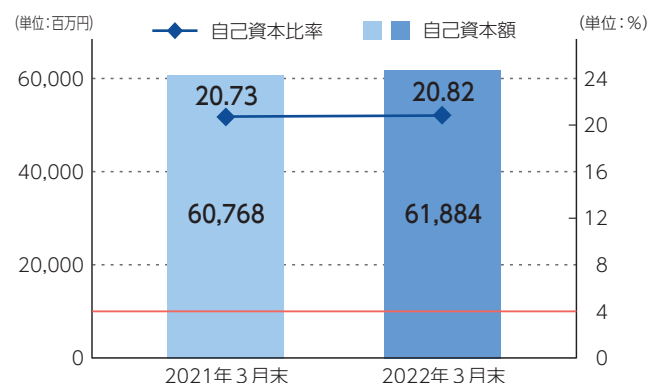
(注)時価は、3月末日における市場価格等に基づいています。

自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、毎期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は20.82%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率



(単位: 百万円)

	2021年3月末	2022年3月末
自己資本 (A)	60,768	61,884
リスク・アセット等 (B)	293,031	297,212
自己資本比率 (A/B)	20.73%	20.82%

用語のご説明

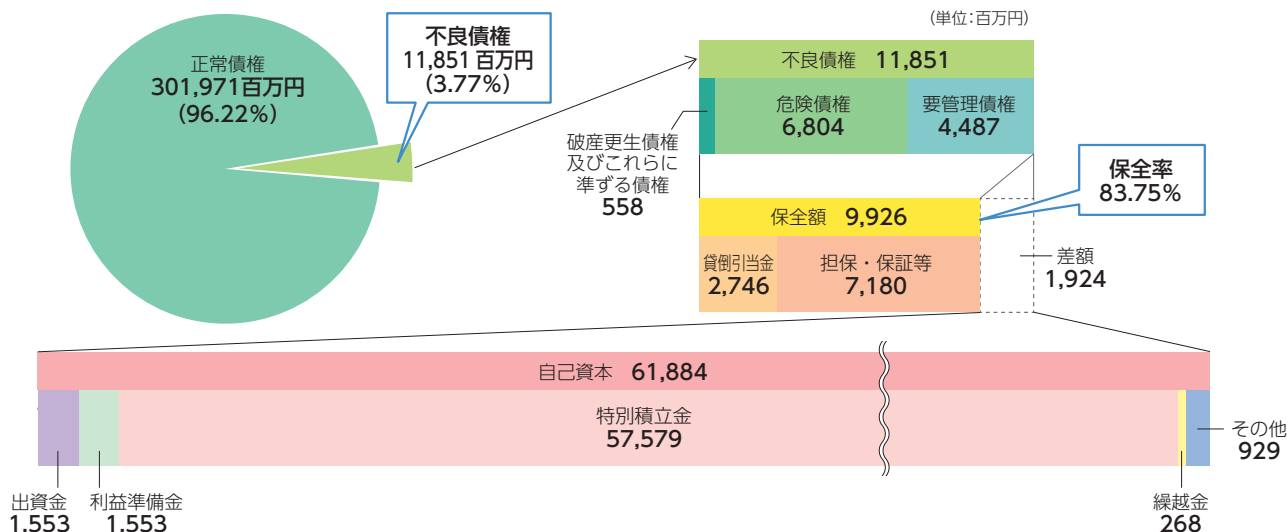
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産（＝リスク・アセット）に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客さまの資金繰りの円滑化に努めるとともに、地域事業振興部を中心に本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額1,924百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は59,401百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

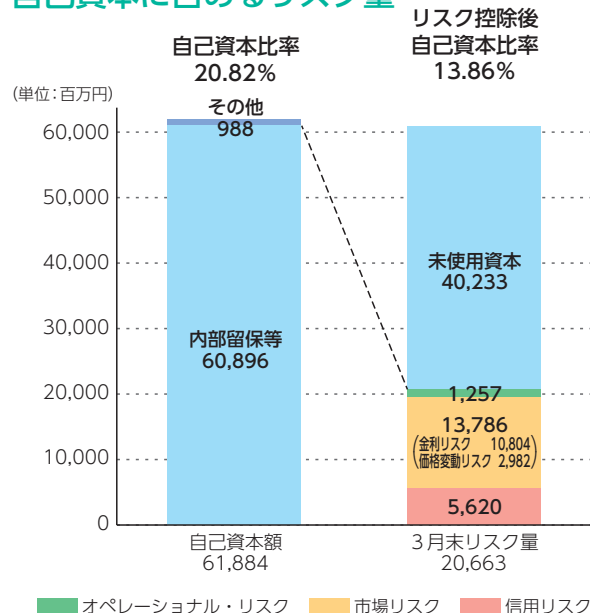
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力（＝自己資本）の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

3月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も13.86%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

自己資本に占めるリスク量



用語のご説明

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク（法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等）を含む幅広いリスクとして捉えています。

財務諸表・主要な経営指標の推移

第72期貸借対照表 (2022年3月31日現在)

(単位:百万円)			
科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
現金	4,569	預金積金	665,103
預け金	52,631	譲渡性預金	9,180
有価証券	363,967	借入金	3,786
貸出金	313,009	コールマネー	4,503
外国為替	231	その他負債	1,900
その他資産	4,165	退職給付引当金	1,223
有形固定資産	10,899	その他の引当金等	314
無形固定資産	53	再評価に係る繰延税金負債	690
繰延税金資産	1,413	債務保証	575
債務保証見返	575	負 債 の 部 合 計	687,276
貸倒引当金	△ 3,557	(純 資 産 の 部)	
		出資金	1,553
		利益剰余金	59,461
		処分未済持分	△ 58
		会員勘定合計	60,955
		その他有価証券評価差額金	△ 1,182
		土地再評価差額金	908
		評価・換算差額等合計	△ 273
		純 資 産 の 部 合 計	60,681
資 産 の 部 合 計	747,958	負債及び純資産の部合計	747,958

第72期損益計算書 (2021年4月1日から2022年3月31日まで)

(単位:千円)	
科 目	金 額
経常収益	9,362,827
資金運用収益	7,733,552
貸出金利息	5,685,371
預け金利息	77,573
有価証券利息配当金	1,899,874
その他の受入利息	70,732
役務取引等収益	591,453
受入為替手数料	197,665
その他の役務収益	393,787
その他業務収益	995,266
外国為替売買益	6,528
国債等債券売却益	912,496
その他の業務収益	76,241
その他経常収益	42,555
償却債権取立益	30,396
株式等売却益	1,524
金銭の信託運用益	0
その他の経常収益	10,634
経常費用	7,614,636
資金調達費用	174,221
預金利息	134,217
給付補填備金繰入額	3,660
譲渡性預金利息	899
借入金利息	12,733
コールマネー利息	22,397
その他の支払利息	311
役務取引等費用	814,666
支払為替手数料	75,959
その他の役務費用	738,707
その他業務費用	29,474
国債等債券売却損	27,684
その他の業務費用	1,790
経費	5,753,385
人件費	3,152,717
物件費	2,349,415
税金	251,251
その他経常費用	842,889
貸倒引当金繰入額	674,873
貸出金償却	98,697
株式等売却損	30
その他の経常費用	69,287
経常利益	1,748,191
特別利益	4,712
特別損失	140,438
税引前当期純利益	1,612,464
法人税、住民税及び事業税	587,967
法人税等調整額	△ 227,771
法人税等合計	360,196
当期純利益	1,252,267

主要な経営指標の推移

(単位:百万円)			
	2019年度	2020年度	2021年度
預金積金残高	630,833	658,550	665,103
貸出金残高	312,700	320,691	313,009
経常収益	9,831	9,350	9,362
経常利益	2,328	2,335	1,748
当期純利益	1,768	1,485	1,252
出資総額	1,609	1,586	1,553
自己資本比率	20.49%	20.73%	20.82%
不良債権比率	2.58%	2.75%	3.77%

2021年度 トピックス

2021年

4月30日 「SMS配信サービス」 取扱開始

5月31日 大洲支店リニューアルオープン **P.10**

6月 4日 第5期経営力向上塾 開講

15日 信用金庫の日

信用金庫業界では「信用金庫法」が昭和26年6月15日に公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定めています。全国の信用金庫では、毎年お客さまへの感謝の気持ちを込めて、清掃活動などの地域貢献活動等を展開しています。



22日 第71期通常総代会

9月 1日 「段階金利型住宅ローン」 取扱開始

6日 「WEB完結型消費者ローン」 取扱開始
「職域フリーローン」 取扱開始

17日 土居田支店を廃止し、雄郡支店へ店舗統合 **P.10**



10月 4日 喜田村支店が移転名称変更し、今治南支店がオープン **P.10**

7日 愛媛信用金庫設立70周年記念事業 愛媛県や松山市などへ寄付 **P.7**

22日 今治立花支店を廃止し、今治南支店へ店舗統合 **P.10**

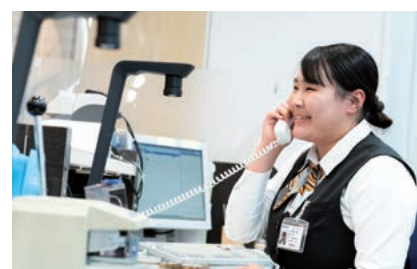
11月22日 「東温市とよい仕事おこしフェア実行委員会との包括的連携に関する協定」 締結

12月10日 第7期女性経営者塾 開講

2022年

1月 4日 第28回懸賞金付定期預金「開運大吉くん」 取扱開始（～3月31日）

11日 「通帳レスサービス」 取扱開始



地域のお客さまの課題解決に向けた取組み

ビジネスマッチングへの出展支援

お客さまの販路拡大や様々なマッチングのお手伝いをするため、信用金庫の強みである「つなぐ力」を活用し、全国各地やオンラインで開催されるビジネスマッチングなどへの出展を支援しています。

“すごもり”商談会～絆紡2021～

「すごもり」需要に応える食品・雑貨品の製造・販売を営んでいる事業者とバイヤー企業との個別商談会への参加をサポートしました。



第2回スイーツ商談会

お菓子の製造・販売を営んでいる事業者とバイヤー企業との個別相談会への参加をサポートしました。



他の信用金庫が主催するビジネスフェアへの出展支援

「さいしんビジネスフェア2021オンライン」
(5月10日～6月30日)
「ひがしんビジネスフェア2021オンライン」
(11月15日～2月14日)
当金庫のお客さまも自慢の商品をPRしていただきました。



2021年度ビジネスフェア・商談会への出展支援実績

開催日	主催金庫等	開催地	出展を支援した企業数
5月10日～6月30日	埼玉縣信用金庫	埼玉・オンライン	2社
7月14日、15日	城南信用金庫	東京・オンライン	4社
9月9日、10日	城南信用金庫	東京・オンライン	2社
9月15日～21日	愛媛県	愛媛	1社
10月4日～8日	信金中央金庫	オンライン	1社
10月29日～11月19日	信金中央金庫	オンライン	2社
11月15日～2月14日	東京東信用金庫	オンライン	2社

事業のライフサイクルに応じたさまざまな支援

第5期経営力向上塾



第7期女性経営者塾



第19、20回創業セミナー



職場改善支援活動



マーケティング支援活動



コンサルティング事例集に詳しい内容を掲載しています

事業に関するコンサルティングの事例や、実際のお客さまの声を紹介しています。詳細については地域事業振興部 [089-946-1121] までお問い合わせください。



地域活性化への取り組み

設立70周年記念事業を実施

当金庫では、2021年1月に設立70周年を迎えたことを記念し、これまで当金庫を支えていただいた地域への感謝の気持ちを込めて、愛媛県および当金庫が店舗を置く県内13の市町※に対して寄付を行いました。

※松山市、今治市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上浮穴郡久万高原町、伊予郡松前町、伊予郡砥部町（市区町村コード順）



愛媛県「子どもの愛顔応援ファンド」へ寄付（10月7日）



松山市「ふるさと松山ささえあいファン」へ寄付（10月15日）



今治市「マスターブランドでまちの価値を高めるまちづくり計画」へ寄付（12月6日）



八幡浜市「強い産業をつくり、しごとを維持・創出する事業」へ寄付（10月26日）



新居浜市「滝の宮公園リニューアル事業」へ寄付（11月29日）



久万高原町「まち・ひと・しごと創生推進計画」へ寄付（11月9日）

「四国地区信用金庫協会とJR四国との地域活性化に関する連携協定」を締結

四国地区内の信用金庫とJR四国が連携し、四国地区全体の地域活性化・地域振興に向けた取り組みを実施しています。JR四国の旅行計画「四国国家のお宝」事業に地方公共団体と地元信用金庫が参画し、信用金庫の取引先にも協力してもらいながら、食事、お土産、体験等を通じて地域の魅力を伝えるツアーを企画しています。

2022年6月には、「民力で築いた歴史を持つまち 郡中」ツアーが実施されます。「四国国家のお宝」が伊予市で開催されるのは今回が初めてで、「郡中だし文化」をテーマに、伊予市灘町の歴史的建築群のひとつであるミュゼ灘屋や萬安港灯台などを巡り、郡中エリアがどのように発展し、「郡中だし文化」が今もなお育まれている理由を解き明かします。



「東温市とよい仕事おこしフェア実行委員会との包括的連携に関する協定」を締結

当金庫も実行委員を務めるよい仕事実行委員会と東温市が、地域活性化と産業の振興を図り、地域社会の発展に寄与するための包括的連携を締結しました。

東温市で生まれたサクラの新品種「陽光桜」と日本各地の名物がコラボレーションする企画「地域連携プロジェクト」が立ち上げられ、「陽光桜クラフトビール」と「陽光桜カステラ」の2つの新商品が完成しました。



ESG・SDGs経営をサポート

伊予銀行との共同アレンジにより、株式会社今治・夢ビレッジ様と「サステナビリティ・リンク・ローン（以下、「SLL」）」の契約を締結しました。

SLLは、ESG・SDGsへの取組みを通じた企業価値向上に向けて、具体的目標（KPI）を掲げ挑戦するお客さまのための融資であり、お客さまのSPTs（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット）の達成状況に応じて融資条件の優遇等を行います。



「しんきんSDGs 私募債『ちいきのミライ』」を受託

当金庫の取引先である共立電気株式会社様および株式会社野本自動車部品様が発行するSDGs私募債を受託しました。同私募債の発行にあたって、共立電気(株)様は愛媛県立松山工業高校へ、(株)野本自動車部品様は松山市立荏原小学校へそれぞれSDGs達成に向けて活用される教育関連物品を寄附されました。



しんきんSDGs私募債とは

一定の財務基準を満たし、SDGsの達成に向けて取り組んでいる優良企業が発行するもので、引受人である当金庫と財務代理人の信金中央金庫が、それぞれの受入手数料を一部割引し、発行企業が割引相当額以上の物品等をSDGs達成のために活用する団体等へ寄付する商品です。



地域に密着した取組みやボランティア活動

信用金庫の日



ご来店いただいたお客さまへ花の種をお渡ししました。

芋ほり体験



営業店で育てたサツマイモを園児と一緒に収穫しました。

ロビー展



各営業店でロビー展などを開催しています。

地方祭に参加



保育園のクリスマス会に参加



職場体験学習の実施



えひめオープンシニアテニス大会2021に特別協賛



献血



清掃活動



新商品・サービスの提供

■段階金利型住宅ローン取扱開始

契約時に全期間の金利が2段階で固定されるため、安定した返済計画が立てられ、また、借入当初の返済負担を抑えることができるご利用いただきやすい住宅ローンです。

■WEB完結型消費者ローン取扱開始

日中にご来店が難しいお客さまのため、来店することなくお申込みから契約まで、スマートフォンやパソコンより手続きすることができるローンです。

■職域フリーローン取扱開始

職域サポート制度加入事業所の従業員の方に対する自由度が高く、WEB完結（完全非対面）での対応ができるローンです。

職域サポート制度

従業員の福利厚生の充実等、当金庫の活動趣旨に賛同いただける当金庫営業区域内で事業を営む法人（上場企業、大企業も含む）や個人事業主、地方公共団体が加入できる制度です。制度加入事業所の従業員の方は、各種個人ローンの金利優遇や低金利の専用ローンをご利用いただくことや、資産運用や保険、年金等に関する相談をしていただくことができます。

■通帳レスサービス取扱開始

個人のお客さまを対象に、従来の紙通帳に代えてスマートフォンから「通帳アプリ」を利用することで、入出金明細の確認・検索・メモ機能・総合口座定期預金への預入および解約などが可能となるサービスです。



店舗リニューアル・店舗統合

大洲支店リニューアルオープン！

2021年5月31日に店舗機能の充実や利便性の向上、耐震強化を目的として、大洲支店を建替えし、リニューアルオープンしました。新しい大洲支店は、「勾配屋根」や落ち着いた色彩の外壁を採用するなど、大洲市の景観に適した建物にしました。また、店舗入口やATMまで誘導する点字ブロック、多目的トイレを設置するなど、どなたにもご利用いただきやすいバリアフリー構造の店舗となっています。



リニューアル後の大洲支店では、広くなった駐車場や店舗ロビーを活かして、お客さまや地元小中学生の作品展等を実施しています。



今治南支店オープン！

10月4日に喜田村支店が移転し、「今治南支店」としてオープンしました。新しい店舗には、ロビー入金機や重要物管理機、電子記帳台、全自動貸金庫等を設置するなど、店舗機能の充実や利便性の向上を図りました。



リニューアルした大洲支店と今治南支店の建物内には、新型コロナウイルス対策の一環として、一度の施工で抗菌効果が長時間持続する光触媒コーティングを施工しています。

※光触媒…太陽光、蛍光灯、LEDなどの光を受けて強力な酸化力を生み、接触してくる有機物や細菌・ウイルスなどを除去する環境浄化物質

店舗統合

2021年9月17日に土居田支店を雄郡支店、10月22日に今治立花支店を今治南支店へ統合いたしました。経営資源の有効活用により、業務効率化を図り、一層のサービス向上に努めてまいります。



お客さまに安心してご利用いただくために

ATMによる出金制限を強化

高齢者を狙った特殊詐欺被害の拡大防止のため、年齢や金額など一定の条件でATMの出金を制限する仕組みを導入しています。

県内でも警察官や金融機関職員等を騙って電話をかけ、取引金融機関のキャッシュカードの暗証番号を聞き出しキャッシュカードをだまし取り、預金を引き出す犯罪が県内でも多数発生しています。当金庫職員や警察官等が暗証番号をお尋ねしたり、キャッシュカードをお預かりすることはありません。もし、そのような案内の電話があった場合は、ご家族、警察、お取引店にご相談ください。



県警主催の特殊詐欺防止の広報啓発活動に参加



警察と連携した特殊詐欺事件への対応訓練



非常時における安定的な金融サービスの提供を目指して

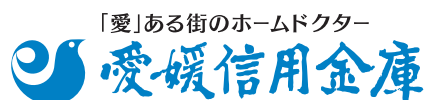
大規模地震や火災等のあらゆる災害に備え、様々な想定シナリオに基づく訓練を定期的を実施しています。



マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与とは、犯罪や不当な取引で得た資金を、正当な取引で得たように見せかけたり、多数の金融機関等を転々とさせることで、資金の出所を分からなくしたりする行為や、テロの実行支援等を目的としてテロリストに資金を渡す行為などを指します。

当金庫は、複雑化・高度化するマネロン・テロ資金供与の手口に対応し、有効に防止するため、さまざまな対策を講じています。国内の金融機関は、2024年3月までに金融庁のガイドラインやFAQ等を踏まえた態勢整備の実施を求められており、窓口や郵送書類等によりお客さまの情報やお取引の目的等について定期的に確認させていただく場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



「愛」ある街のホームドクター

詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。

〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11

TEL 089-946-1111 (代表) <http://www.shinkin.co.jp/ehime/>

本資料は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。詳細につきましては、7月下旬発行予定の「ディスクロージャー 2022」をご覧ください。